

テーマ3 : 図書館と学内他部門及び教員との連携による課題解決を考える

学生の学習モチベーションUPが 大学を救う！ ～図書館が提案する学習支援～

平成28年度大学図書館職員短期研修（東京会場）第8班

（内山）（小野寺）（北出）
（佐々木）（菅原）（鈴木）

大学を取り巻く問題

- 2018年問題
- 18歳人口の減少



定員割れ
経営の危機

設定

- **大学**
 - **中小規模大学**

- **対象となる学生**
 - **あまり学習に積極的ではない**
 - **そもそも学習の意義を見いだせていない**

図書館の悩み

学生の...

- リテラシー教育講習参加者が少ない
- 貸出数が少ない
- 入館者数が少ない
- ↓
- 学生に図書館が使われていない？

○ ⇒なぜ学生に使われていないのだろう...

- **学生の学習時間を増やす支援を行う**
 - 情報リテラシー教育の充実
 - コンテンツの充実

学生は...

- 学生「学習？そんなのめんどうだ」

学生のモチベーションが低いため、
効果が表れない

→まずは学生に学習に対する意欲を持ってもらわないといけない！！

そこで図書館

- **まずは学生の学習へのモチベーションをUPさせる**
- **モチベーションをもった学生へのリテラシー支援**
- **授業コンテンツが活用される**
- **学習目標をもった学生は学習時間がUPする**

モチベーションUPのための新たな事業を提案！

履修登録フェア

履修登録をイベントにする

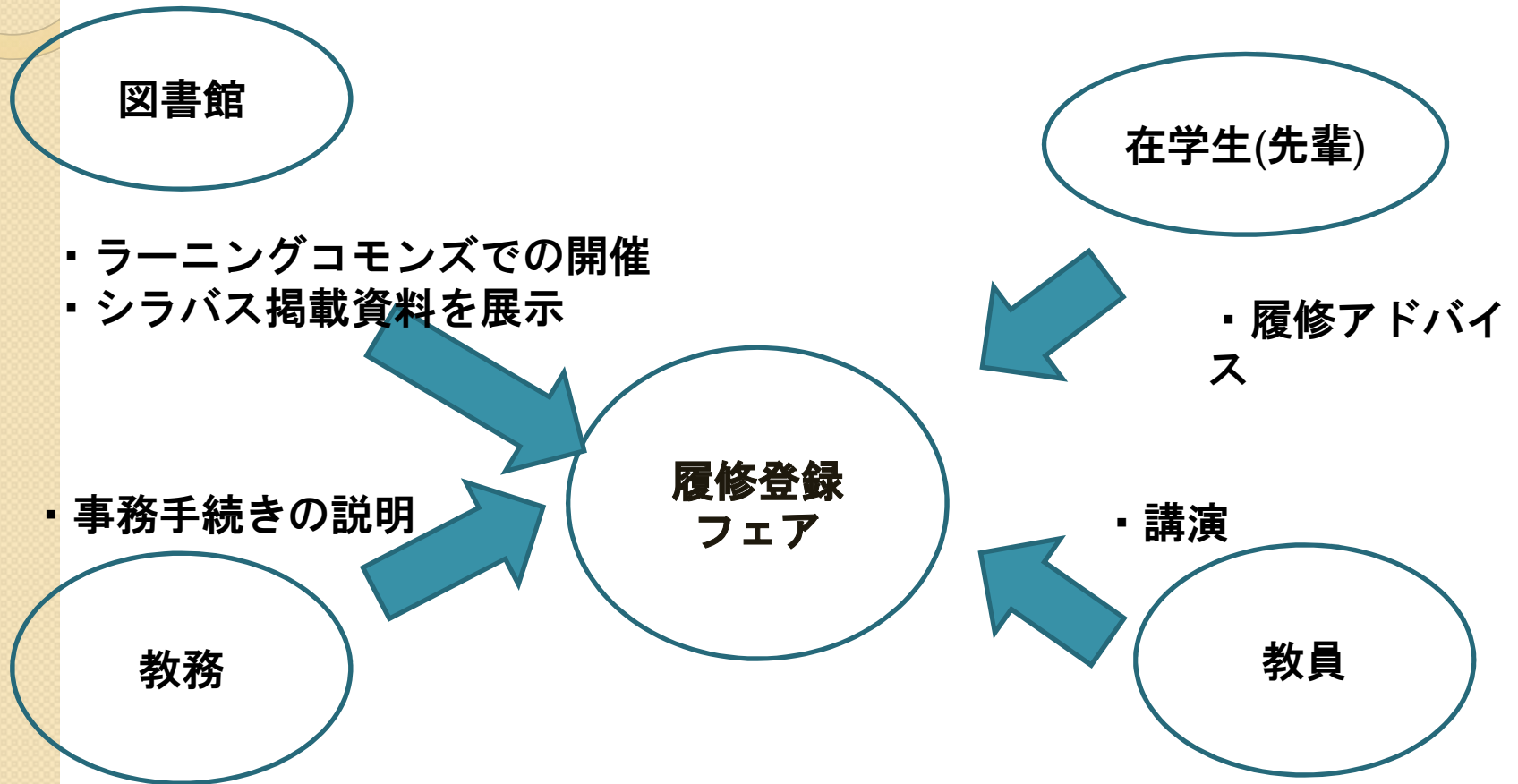
- ラーニングコモンズで履修登録のイベントを行う
- 教員や先輩などによるアドバイス
- 教員や先輩などによる講演会
- 授業の参考書も展示する
- 授業コンテンツのアーカイブ公開
- 資料提供（初年次向け、資格...）
- 図書館の紹介

期待される成果

- その人に合った履修登録
⇒ 受けるべき授業が見つかる

- 学生の学習プラン/目標が定まる
⇒ 学習への意欲が増し、モチベーションUPが期待される

連携組織図



連携を行うための課題

- 人？お金？時間？

実現に向けた方策・連携

- 他部署へのメリットを示す
 - 学生が意欲的になれば就職率もUP
 - 大学の評価もUP

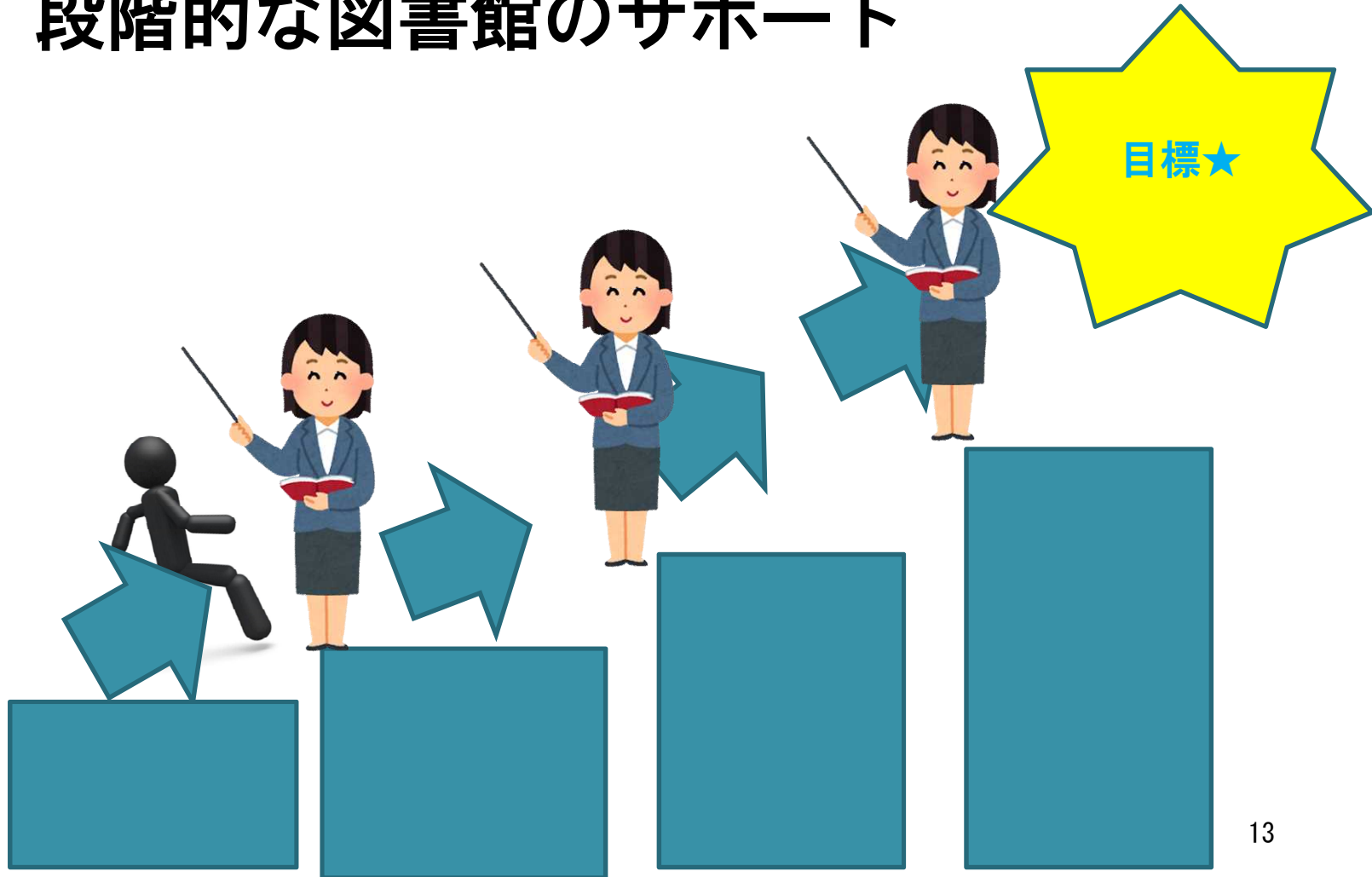
履修フェアの結果

- 学生の学習へのモチベーションUP
- リテラシー講習会の参加者増加
- 図書館資料の活用

学習目標をもった学生は学習時間がUPする

学生への継続的な支援

段階的な図書館のサポート



大学のメリット

- 学力があがって、その結果として就職率もあがる
- ブランド力があがる
- 入学志願者が増える

⇒ 大学の経営が改善される

結論

**学生のモチベーションUPは
大学の経営改善になる！！**